

地域とわたしたちの心意気をつたえる

Vol.
07

Total. 81
2026
Winter

TAKE
FREE

心意気通信

Kokoroiki-Tsushin



CONTENTS

心意気インタビュー
360°よねざわ
オープンファクトリー
実行委員会
マロン総選挙

360°よねざわオープンファクトリー

心気
インタビュー

さんろくまる

360°よねざわ

オープンファクトリー

実行委員会

米沢のものづくりの
奥深さを感じて



総合受付になった米織会館。イベント当日の様子



緑のリストバンドは見学中の目印



職人さん達が実際に働く現場を間近で見ることができる



工場内部は現場スタッフによる案内



機械の音、作業の緊張感、素材に触れたときの質感を五感で感じる体験ができる

上杉鷹山の時代から続く長い歴史を持つ米沢織と、戦後の企業誘致によって発展した電機・機械・情報通信関連産業――。

こうした特色を持つ米沢で開催されているイベント「360°よねざわオープンファクトリー」は、今年で3回目を迎えました。今回は、360°よねざわオープンファクトリー実行委員会の近藤哲夫さんに、オープンファクトリーに込めた想いを伺いました。

『もの作りの本質』

360°よねざわオープンファクトリーは、米沢市内のものづくり企業が普段は公開しない製造現場を開放し、来場者に『ものづくりの本質』を体感してもらうイベントです。織機の響く音や、発酵蔵の香り、職人の手が加わる瞬間など、完

成品を見るだけではわからない工程そのものを見てもらいことが大きな目的です。

米沢は織物や発酵など伝統産業が根づいた地域ですが、その価値が地域外はもちろん、地元住民にも十分に伝わりきっていないと感じていました。そこで、「現場をそのまま見てもらう」ことを軸に、産地文化を丸ごと感じてもらう場をつくったといいます。

このイベントを始めるきっかけになったのは、市役所からの紹介でプラットヨネザワの宮嶋氏とつながったことでした。全国でオープンファクトリーが注目されていた時期に、山梨県富士吉田市の「ハタオリフェスティバル」の取り組みを知った近藤さんは、「米沢でも産地を開く文化が根づくはずだ」と確信したそうです。また、NHK朝ドラ『舞いあがれ!』で町工場が取り上げられたことも追い風だったとのこと。

360° オリジナルグッズ

第3回 360° よねざわオープンファクトリーの来場特典。
参加企業での見学や、お買い物の条件達成でプレゼントされました。



参加者が複数の企業を巡るようにつくられたスタンプラリー。既定の軒数を回られた方にオリジナルカラビナが贈られました。産地を横断する『冒険感』があり、親子連れにも非常に好評だったそうです。



参加企業22社で「税込3,000円以上お買上げ」した方へのプレゼント。オリジナル手ぬぐいと過去の360°で好評だったトートバッグは、いずれか一点好きな方を選べました。



このイベントの価値だと近藤さんは語りました。
地域に対しては、産地そのものが『誇れる存在』になることを目指しているとのこと。
来場者が飲食店や宿泊施設、交通機関を利用することで経済効果が生まれますし、地元住民が「こんなにすごい仕事が生産に近づいたのか」と気づくきっかけにもなります。産地への誇りが高まることは、企業の活力にもつながります。
第3回の開催を迎え、イベントは確実に地域へ浸透しつつあると感じている近藤さん。
来場者数は増え、スタンプラリーやイベントバスなどの新しい取り組みも定着したと続けます。若い世代や学生の参加が目立ち、学校との連携が深まっていることも大きな変化です。また、印刷・アパレル・酒造など産地外の業界からの視察も増え、米沢が『学ぶための産地』として注目されていることを実感しているとのこと。



ワークショップでは、手織りや簡易加工などが体験できます。実際に手を動かすことで、製造の難しさや楽しさに気づく方が多いです。

動き始めた360°。

開催にあたり、最も苦労したのは、初年度に行った『イベントの型づくり』だったそうです。前例がほとんどなかったため、プラットヨネザワの宮嶋氏とは毎日のように意見を交わし、一つひとつ形にしていっていったといいます。翌年からは実行委員会を正式に設置し、役割を明確に分担したことで運営の安定につながったそう。その過程で、予想以上の『嬉しい変化』もあったとのこと。来場者が真

剣に質問をしてくれる姿は、企業にとって大きな励みとなりましたし、企業同士がお互いの現場を見ることで、自社を見直したり改善点を発見したりする動きも生まれました。さらに、見学がきっかけで入社した若者が現れたことは、開催の意義を強く実感する出来事だったそうです。米沢には、古い機械を丁寧に扱いながら生産を続ける現場が多く、そこには職人の経験や技術、判断力が詰まっています。機械の音、作業の緊張感、素材に触れたときの質感。五感で感じる体験こそが、



イベント名の「360°」には、米沢盆地を囲む360度の山々という象徴的な風景と、産地を全方向から見せるという意志が込められています。名称選定では、多くの案が挙がり、最終候補には「美盆地(びぼんち)」なども残りましたが、最終的には、数字で覚えやすく、海外にも発信しやすい「360°」が選ばれました。

マロン総選挙 令和6 結果発表!

前号で開催されたマロン総選挙結果発表!! 投票先を決めかねた方は、さぞ多かったことでしょう。
一騎打ちとなった今回。猫派犬派の争いにも!? 果たして、1位を勝ち取ったのはどっちのマロンなのか...!?

投票結果
17票

接戦の結果、第1位を勝ちとったのは...
さとうまるん様! おめでとうございます!
クールなまなざしが魅力的なイケ猫——。
きっと飼い主さんを日々魅了していることでしょう。



ちゅ～るを
食べまくるにゃ!



投票結果
10票

惜しくも2位となった吉澤マロン様。
コロコロと変わる表情に
飼い主さんへの愛が伝わってきました!



ビーフジャーキーを
食べればいいじゃない
吉澤マロン

負けてしまい
残念です...

順位はついたけど
どっちのマロンも
魅力的だワン!



皆さんが掲げられた公約を実行し続け、"マロンのための"素晴らしい社会づくりに励んでいただきたいと思います!
ご参加いただきありがとうございました!

地域に誇れる
イベントを目指して

今後は、参加企業をさらに増やし、30〜50社規模のイベントへと成長させたいと考えているそう。また、体験や販売イベントを強化し、宿泊や食を組み合わせた『産地ツアー型』の企画にも挑戦していきたいと語っています。実行委員会は最終的に、360。が米沢を代表する恒例イベントとして、地域の誇りになる未来を目指しています。



Information

次回開催
2026年9月

お問合せ
TEL: 0238-23-3525
(平日9:00~16:00)



HP



Instagram

さらに詳しい
インタビュー
内容はこちら



大切に行っているのは、「米沢のものづくりを未来へ届ける」という想いです。現場を開くことで産地の価値が「見える形」になり、その価値が次世代へつながっていく。そうした循環を生み出すことが360。の使命だと語る近藤さん。参加した人が産地の価値を体感し、伝える人に。360。オープンファクトリーを機に米沢の産地文化としての魅力が沢山のの人に伝わっていくと感じました。見て聞いて、現地で得る

360。よねざわオープンファクトリー実行委員会の心意気
米沢のものづくりを見こけろ!



もの全てが知見や自信、またはご縁となつて、間接的にも周囲へ良い影響を与えていく。今後の360。オープンファクトリーの更なる発展が楽しみです。



雑草コーラ 冬のアレンジレシピ

雑草コーラに含まれる6種のスパイスは身体をポカポカ温めます。
冬の寒い時期でも体温まるドリンクでホッとしませんか？

冬だからこそ
楽しめる！
あたたかい
雑草コーラ



材料の比率

雑草コーラシロップ〈1〉：お湯〈4〉

作り方

- 1 カップにシロップとお湯を注ぐ
色が均等になるまでよくかき混ぜます。
お好みで輪切りレモンを添えてもOK！

材料の比率

雑草コーラシロップ〈1〉：赤ワイン〈5〉：オレンジジュース〈3〉

作り方

1 温める

鍋に赤ワインとオレンジジュースと
シロップを入れ、温める。
(沸騰させないように注意)

2 カップに注ぐ

お好みで
シナモンスティックを
添えてもOK！



他にも色んな
アレンジで



オンラインストア

第49回上杉雪灯籠まつりに出店します！この機会にぜひご賞味ください！

開催日 2026
2/14(土)・15(日)

限定
販売

川島印刷オリジナル卓上カレンダー

紙ごころカレンダー



15種類の
紙の魅力を
楽しめる

詳細はこちら



1,100円 (税込)

サイズ：120×148mm(組み立て時)
体裁：15枚 仕様：紙製スタンド、月めくり

心意気通信 (旧かわしま通信)

Kokoroiki Tsushin

Vol.07 total.81

Winter 2026 2026年1月発行

発行／株式会社 川島印刷
〒992-0021

山形県米沢市大字花沢 221-2

TEL / 0238-21-5511

FAX / 0238-21-5514

URL / <https://kawa-prt.com>

企画・制作／川島印刷 社外報委員会

鈴木貴美子、本間かりん、

小林侑輝、岡部智佳、沓澤貴志

取材協力／よねざわオープンファクトリー 360°

実行委員会さま



心意気デザイン



Instagram



Facebook

UD FONT
by MORISAWA